



特集

# 企画展でふりかえる

# 琵琶湖博物館の10年

琵琶湖博物館は、平成8年(1996年)10月20日に開館し、今年(2006年)の10周年を迎えます。

10年前の朝9時半、正面玄関入り口に並ばれたたくさんのお客様を見て、やっと開館だという感慨と共に、いよいよだという緊張感を持って玄関ドアを開けたことを昨日のこのように覚えております。あれから琵琶湖博物館は、地域の人びととともにいろいろな活動を行ってきました。

第7回企画展『湖の船』展示で解説中の筆者

第8回企画展『湖の魚・漁・食』展示  
第10回企画展『中世のむら探検』展示

## 開館10周年を迎えて

今回、10周年を迎えるにあたって、どういった形でこの10年間を振り返ればいいのかと考えました。

琵琶湖博物館の活動を樹木にたとえると、研究調査は根の部分にあたり、すべての博物館活動の根幹にあたりと位置づけられています。そして資料の収集・整理・保管が太い幹にあたり、展示、観覧会・見学会、講座・講演会、電子出版・出版活動、広報・ネットワークづくりなどは、花であり結ばれた実と考えています。根幹にあたる10年間の研究調査活動成果については、別途、わかりやすい報告書をまとめてみました。

そこで、ここでは花であり実となつた企画展示を中心にして琵琶湖博物館の歴史を振り返ってみることにしました。開館から平成17年まで開

催された13の企画展示をたどつてみることで、博物館の10年の活動紹介と地域への感謝の気持ちを表し、さらにこれからの琵琶湖博物館への期待の高揚をはかっていきたいと考えています。

## ギャラリー展示の開催と図録の刊行

『企画展でふりかえる琵琶湖博物館の10年』と題したギャラリー展示は、平成18年(2006年)12月23日(土)～平成19年(2007年)2月18日(日)までの43日間にわたつて、琵琶湖博物館1階の企画展示室で開催します。また、この展示の図録『企画展でふりかえる琵琶湖博物館の10年』は、10周年記念日にあわせて10月に刊行します。

これらの展示と図録は、年表と共に企画展示を軸にした10年のあゆみ

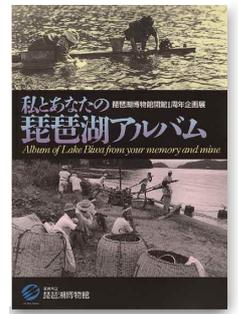


総括学芸員(考古学)  
用田政晴

写真は、伊勢神宮の掘立柱建物を調査中  
(撮影：中野晴生)

これまでに開催した  
企画展の図録表紙





企画展名		開催期間
第1回	開館記念特別展(今森光彦写真展) 里山 生命の小宇宙	平成8(1996)年10月20日~平成9年1月19日
第2回	企画展 博物館ができるまで	平成9(1997)年3月8日~4月27日
第3回	企画展 古代湖の世界	平成9(1997)年6月15日~8月31日
第4回	開館1周年企画展 私とあなたの琵琶湖アルバム	平成9(1997)年10月10日~平成10年2月1日
第5回	企画展 近江はトンボの宝庫	平成10(1998)年7月18日~9月23日
第6回	企画展 絶滅と進化 動物化石が語る東アジア500万年	平成11(1999)年1月15日~4月11日
第7回	企画展 湖の船 木造船にみる知恵と工夫	平成11(1999)年7月20日~11月23日
第8回	企画展 湖の魚・漁・食 淡海あれこれ商店街	平成12(2000)年7月15日~11月23日
第9回	企画展 鮠(なます) 魚がむすぶ琵琶湖と田んぼ	平成13(2001)年7月20日~11月25日
第10回	企画展 中世のむら探検 近江の暮らしのルーツを求めて	平成14(2002)年7月20日~11月24日
第11回	企画展 外来生物 つれてこられた生き物たち	平成15(2003)年7月19日~11月24日
第12回	企画展 のびる・ひらく・ひろがる 植物がうごくとき	平成16(2004)年7月17日~11月23日
第13回	企画展 歩く宝石オサムシ 飛ばない昆虫のふしぎ発見	平成17(2005)年7月16日~11月27日

で構成されます。開館記念特別展『里山 生命の小宇宙』にはじまり、『博物館ができるまで』、『古代湖の世界』、『私とあなたの琵琶湖アルバム』、『近江はトンボの宝庫』、『絶滅と進化』、『湖の船』、『湖の魚・漁・食』、『鮠(なます)』、『中世のむら探検』、『外来生物』、『のびる・ひらく・ひろがる』、『歩く宝石オサムシ』までの企画展示を取り上げます。10年間の水族企画展示もあわせて紹介していきます。

また、世界古代湖会議、パリ国立自然史博物館との協力覚書、漁師修行の旅、伯母川探検隊、「はしかけ」やフイールドレポーターの活動なども年度ごとに振り返っていきます。

学校・地域連携、展示交流員や水族飼育員の活動紹介、国際交流の様子、ウェブ・電子図鑑、出版物の紹介なども忘れることはできません。

これら展示の開催や図録の製作は、琵琶湖博物館学芸員の全員参加により、ほとんど手作りで行います。研究調査成果の「学」とあわせて、学芸員の展示や図録での「芸」もごらんいただきたいと思えます。

### これからの琵琶湖博物館への期待

琵琶湖博物館中長期基本計画「地域だれでも・どこでも博物館」を実現するために、平成27年(2015年)までに実現をめざす「地域だれでも・どこでも博物館」の全体像を明

らかにし、個別の計画も指し示したもので、平成17年(2005年)3月にとりまとめました。また、「琵琶湖博物館 展示交流空間更新整備に関する計画」は、常設展示の更新のみならず展示交流空間全体の今後のあり方をまとめたものです。

今回のギャラリー展示やその図録では、これらの琵琶湖博物館の将来像もわかりやすく地域の人びとにお知らせしたいと思えます。図録は、琵琶湖地域を中心とする公的な機関および琵琶湖博物館を支えてきた地域の人びとを中心に配布させていただきます。また、ギャラリー展示は無料でごらんいただける予定です。

ぜひ足をお運びいただいで、10周年を迎えた琵琶湖博物館で、琵琶湖地域の未来のあり方や琵琶湖博物館の将来像についても語りましょう。

### 開館10周年記念ギャラリー展示

## 企画展でふりかえる琵琶湖博物館の10年

12月23日(土)~2007年2月18日(日)

場所：博物館企画展示室

